

# 竹取物語新聞

第119号 2016年2月号  
発行：NPO 法人森林ボランティア  
竹取物語の会

## 伊賀加小で枚方の穂谷の学習とクラフト

1月30日、2年生の生活科の授業に当会から講師として行きました。2限目に1・2組合同で57名、3限目に3・4組の合同で57名計114名です。

☆講義では環境についてです。映像で枚方の豊かな里山を穂谷のこと。穂谷の四季と生き物の種類と数。里山保全には間伐作業が欠かせない大切なことを話しました。

## 2月17日(水) 森の幼稚園来場

園児の7人と、付添いのママ達8人が厳しい寒さの中、穂谷のフィールドに到着、かわいい挨拶を受け会員5人が対応。最初に鋸の使い方を園児6人に教える、鋸を見るのも初めて、もちろん使うのは言うに及ばず・・・かわいい手に会員が手を添えてギーコ・ギーコと声をだし、鋸の使い方を教え、その後竹林に入り伐採を体験させる。ママ達にも竹を見てどのような竹を切るか、この竹はどちらに倒れるか？などを説明した後、園児に切らせた。「バリバリ」と竹

☆クラフト指導では間伐した木っ端、自然のものを使ったトンボのブローチを作りました。

☆感想発表では多くの手が上がり「ブローチ楽しかった」「木を切る大切さが分かった」「家で話します」等 笑顔いっぱいに答えてくれました。これからも里山の魅力、保全の大切さを伝えていきます。 (田上武子)

の割れる音で逃げ出す子供たちもいたが無事終了、みんなで切り出した竹を運び出し、午前は終了。昼食後はクラフトに挑戦、竹コップ・竹皿作りを行う、午前中の成果が出て上手に竹を切っていた。ママ達は菜箸作りに挑戦。四苦八苦しながらも会員の手ほどきを受け何とか出来上がった。園児たちも自分で作ったコップ・皿をペーパーで仕上げ、今日の夕食時にこの器に何を入れてもらおうか？ と夢を膨らませつつ体験を終了した。 (荒木由和)